

2018年11月14日

投資者の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額への影響につきまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

「資源ツイン ファンド(通貨選択型)」の基準価額

コース名	2018年 11月13日 基準価額(円)	2018年 11月14日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジルリアルコース	1,198	1,123	75	6.26
米ドルコース	1,568	1,485	83	5.29

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

市況情報

	2018年11月9日	2018年11月13日	騰落率 (%)
原油先物価格	60.19	55.69	7.48
金先物価格	1,208.60	1,201.40	0.60

(小数点第3位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、11月9日と11月13日と比較しています。

原油先物はWTI原油先物、金先物はCOMEX金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	2018年11月9日	2018年11月13日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.2662	0.2630	1.18
米ドル(対円レート)	113.72	113.93	0.19

(ブラジルリアルは小数点第5位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第3位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレートです。

ブラジルリアル(対米ドルレート)の単位は米ドル、米ドル(対円レート)の単位は円です。

各レートについては基準価額への反映を考慮し、11月9日と11月13日と比較しています。

出所:ブルームバーグ

足許の状況

前週末の 9 日から 13 日にかけての原油先物価格は、OPEC(石油輸出国機構)加盟国のサウジアラビアによる原油の減産方針をトランプ米国大統領が批判したことや、OPEC の月報において来年の世界の原油需要見通しが下方修正されたことなどが嫌気され、大幅に下落しました。

同期間の金先物価格は、米国の追加利上げ観測などを背景に米ドルが主要通貨に対して上昇傾向で推移していることを受けて、下落しました。

同期間のブラジルレアル(対米ドルレート)は、原油先物価格の大幅下落やブラジル国内の経済指標が予想外に低下を示したことなどから、ブラジルレアル安が進行しました。

今後の見通し

原油先物市場では、OPEC の加盟国と非加盟国による原油生産動向や、段階的に激しさが増す米中貿易摩擦による世界経済への影響などを背景に、不安定な相場展開が見込まれます。しかしながら、米中貿易摩擦に関して両国が協議を再開しており、今後このことに進展が見られれば、原油先物市場にとってプラス材料になると考えられます。

金先物市場では、今後も米国での追加利上げの継続が予想される中、米国金利の上昇や米ドル高が進行した場合、金先物価格の上値は重くなるが見込まれます。一方、中東での地政学リスク、イタリア財政問題を巡る EU(欧州連合)との対立、先行きが不透明な英国の EU からの離脱、米中貿易摩擦の激化に関する懸念などを背景に、安全資産としての需要も底堅くなると見られ、一定水準の範囲内で推移することが予想されます。

ブラジルレアル(対米ドルレート)は、先月末の大統領選の決選投票において、ボルソナロ氏の勝利が好感され、足許では堅調に推移しています。ボルソナロ次期大統領は、年金制度を中心に財政改革に取り組む姿勢を示しており、財政を巡る懸念は後退しつつあります。ブラジルの国内経済に関しても、景況感の改善やインフレ圧力の後退などから、政治や経済面での環境が好転しつつあると考えられます。しかしながら、米中貿易摩擦による新興国経済への影響が引き続き不安視されることや、年金制度を中心に財政改革に関する法案の議会での可決には紆余曲折が免れないとの見方もあることなどから、今後もブラジルレアルは大きく変動する可能性があると思われます。

以上

当資料はT & Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.50% または1口(設定時1口1万円)あたり160円

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.998%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T & Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。